

新聞新賣讀

2004年(平成16年)11月18日 木曜日

自宅にミニ洞窟 岩石保存

大阪経済法科大の沢教授

世界各地の洞窟を研究している大阪経済法科大の沢勲教授(大阪市西淀川区)が、自宅の床下に「ミニ洞窟」を作った。大人一人が入って座れる空間で、各地の洞窟で採集した岩石を並べた。「小学生の課外授業などのために利用してもらえれば」と話している。

沢教授は小学生の時、初めて洞窟に入り、魅力にとりつかれた。関西大大学院では半導体工学を専攻したが、一九八〇年ごろから洞窟の調査を始めた。九六年には韓国洞窟学会から「洞窟文化の発展と開発利用に貢献した」として、外国人初の学術賞を贈られた。

業務用の大型床下収納庫を埋め込んで作ったミニ洞窟は、幅一・四尺、奥行き一・五尺、高さ一・二尺。両側に



自宅に作ったミニ洞窟に入る沢教授

ミニ洞窟は床板をはめ、照明を消せば真っ暗。沢教授は時々、静かな暗闇の世界に身を委ねてめい想するという。

「実際に現地に出向かなくても、手軽に洞窟の探検気分が味わえる」。連絡はファックスで06・6741・6686へ。